

# 南一の風 育てたい力(資質・能力):つながる力・考動する力・創り出す力

先週13日(水)からの3日間は3時間授業、今週は5時間授業(給食有り)、そして、来週からは通常通りの授業と、少しずつ心と体を慣らしながらの登校となります。

学校では、マスク着用、手洗い・うがいの徹底、対面での話し合い活動をしな、密接にならないようにする、ドアや窓を開け放し常時換気をする、給食は前を向いておしゃべりをしないで食べるなど、子どもたちも私たち自身もがまんをしながら、感染拡大防止に努めています。児童下校後は、机や給食台、ドアノブや手すりなどの消毒や除菌を職員で行っています。

今回の登校は、2ヶ月余り続いた休校による、子ども達の学力保障、生活習慣・生活リズム・ストレスから、心と体を取り戻すための対応です。下校後や休みの日は、引き続き休校期間と同じく自宅で過ごす生活が中心となりますが、これまでの「がまんしたがんばり」が無駄にならないように、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。私たちもがんばります。国が示した「新しい生活様式」の実践例を参考のために掲載します。

## 「新しい生活様式」の実践例

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

理科専科近藤祐樹先生・・・町内の4つの小学校56年生の理科を担当していただきます。熊本県内では南関町だけの配置です。お隣の和水町在住で、水泳が得意とのこと。

月曜日の朝のことです。1年生の教室から歌声が聞こえてきました。今月の歌と校歌です。入学式のあと登校したのはわずか5日間(15日まで)。それでも校歌が歌えるようになっていました。すごい!

給食と学校での様子をホームページにて毎日お知らせする予定です。QRコード→

